

U8 フチベルトン (アリソナ)

フチベルトンはグランドキャニオンの玄関口として有名なフラッグスタッフのすぐそばにある。アメリカのクライミング雑誌コネクション(廃刊)にトポと幾つかの写真が出ていて興味がそそられていた折、杉野夫婦がアメリカから帰国しフチベルトンに立ち寄ったというので、杉野氏から情報を得て1993年の年末にレッドロックスのツアーのついでに寄ってみた(フリーファンにも後に掲載された)。杉野氏から得た情報とは、一度は言ってみる価値がある、1日は楽しめる、冬でも晴れると暖かい、そして冬行くなら軽アイゼン必要、とらことであった。名前からして怪しい所だがベルトンとは言い難くまさにフチ(小さい)ピュクスと言った感じである。結局私が訪れた時は小雪の舞う寒い日で、凍えながらのクライミングとなったが5.13aをオンサイトでできてしまうなど、グレートも怪しい所であった。

岩質

石灰岩(見た目は砂岩扱い所もある)

ルート

岩質は見た目はもろいが比較的固い。そして所々にピュクスの様なポケット(かなり大袈裟)とエッジをつなげて行く。ルートのほとんどは10mほどのショートルートが多い。中には20mを超えるラインもある。全体的に垂直から薄被りでドッ被りは少ない。グレートも比較的甘く5、10、5、11台も多くあり中級者には面白い所である。また短めの高難度ルートも多いのでポルダークが強いには面白いかもしれない。南面で1日中日向。雨が降ると登れない。

宿泊

短期間ならフラッグスタッフの街のモーテルが良い。キャンプ場は岩場のそばにフリーキャンプ場があるが冬は閉鎖されている。

シーズン

冬でも登れるといっても晴れていなければ寒すぎる。フラッグスタッフは標高が高く私が訪れた時も辺り一面雪景色で10cmは積もっていた。ベストシーズンは秋と早春と思われる。

ショッピング

フラッグスタッフの街はそれほど大きくはないが必要な物はすべて手に入る。ザ、エッジと言うマウンテンショップでクライミングの情報を手に入れることが出来る。トポはフリークライミングガイド、ノースアリソナもしくはコネクション誌の紹介記事。

アプローチ

FULAGSTAFFの街からLAKE MARY ROADを6マイル進む。すると左手に公園のゲートがある。冬期は閉鎖されているので、そこに車を止める。夏期は奥のキャンプ場まで入れる。そこから踏み跡をたどる。そうすると谷の反対側に岩場が見える。この谷を下るのが曲者で、冬はアイスバーンになっているので要注意。